



ゆづりは

堺市立図書館だより

第20巻 第1号 (通巻74号)

発行日 令和7年6月10日

編集・発行 堺市立中央図書館

〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1

電話 072 (244) 3811

FAX 072 (244) 3321

https://web.d-library.jp/SKI01/g0102/
libcontents/search/?gid=1025



▲電子版

新移動図書館「あおぞら号」巡回開始！



令和7年4月8日(火曜)から新移動図書館「あおぞら号」の巡回を開始しました。巡回開始に先立って4月6日(日曜)に中央図書館にてお披露目会を開催しました。名称採用者(名称についてはゆづりは72号に掲載)や車両デザインに協力いただいた堺市立堺高等学校の皆さんをはじめ、多くの方とあおぞら号の門出をお祝いしました。

車両デザイン

車両デザインは、堺市立堺高等学校の皆さんが「堺をアピールでき、多くの人に親しみを持ってもらえるようなデザインにしたい」との想いを込めて、堺の名産品や堺にゆかりのあるモチーフをちりばめたデザインを作成してくださいました。

お披露目会

お披露目会では、名称採用者への記念品の贈呈や出発式、あおぞら号の内覧会を行いました。



内覧会では、多くの方が興味を持ってくださいました。普段移動図書館を利用されていない方も身近に感じていただいていた機会となりました。

ありがとう！「くすのき号」

また、役目を終えた「くすのき号」に、これまで25年間もの長きにわたり、市民の皆様の本を届けてくれた感謝を込めて、車内に昔の巡回風景の写真や、移動図書館を利用されている皆様からのメッセージを展示しました。(中央図書館 サービス担当)



移動図書館の巡回予定は、図書館ホームページでご確認ください。

「あおぞら号」のペーパークラフト、3Dデータもダウンロードしていただけます。



【巡回予定】



【ペーパークラフト、
3Dデータ】

目次

- ・新移動図書館「あおぞら号」巡回開始！…1
- ・この本で解決！「節分」…2
- ・万博連動企画巡回ブックフェア「SAKAI BOOK EXPO」を実施中…2
- ・堺市図書館まつりを開催しました！…3
- ・『堺研究』第47号を発行しました…3
- ・司書のイチ押し『日日是好日』…4
- ・堺市立図書館電話番号一覧…4

ゆづりは

とは…

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに
ゆづりゆづりて
譲り葉の
ゆづりあとに
また新しく



この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だより「ゆづりは」と名づけました。

バックナンバーは

こちらから▶





図書館に寄せられた様々な質問と回答を紹介します

Q 今年（2025年）の節分は、なぜ2月3日ではなく2日なのですか？

A 節分の意味を調べると「本来は、季節の分かれ目の意味であり、二十四節気の立春・立夏・立秋・立冬の前日をさす。その中でも、太陰太陽暦、いわゆる旧暦の正月に近い立春の前日をもっとも重要だとされており、現在では立春の前日のみを節分というようになった。（中略）現在使われている太陽暦では二月三日または四日にあたる。」（『知っておきたい日本の年中行事事典』吉川弘文館）とのことです。

過去を調べてみると、2021年も2月2日が節分となっていました。その際に公開された国立天文台のホームページのトピックス「節分の日が動き出す」を確認したところ、「この日付は固定ではなく、令和3年（2021）には2月2日となる。3日でなくなるのは昭和59年（1984）2月4日以来37年ぶり、2日になるのは明治30年（1897）2月2日以来124年ぶりのことである。（中略）では立春はというと、春分や秋分と同じく二十四節気の

1つであるから、2012年のトピックスで説明した秋分と同じ理屈で同じように変動する。すなわち、1年ごとでは1太陽年365.2422日と1年365日の差～約6時間ずつ遅くなる一方、うるう年には4年前より少し早くなる、というパターンだ」とありました。

2012年のトピックスには「国民の祝日に関する法律では、秋分の日は秋分日となっており、具体的な日付が記されていない。ここでいう秋分日とは二十四節気の秋分を含む日、つまり太陽が秋分点を通過する日のことである」と説明されています。

立春の日に関しても、太陽が立春点を通過する日となるためその年により変わります。このことから、2025年の立春日は2月3日となり、その前日である節分が2月2日となることがわかりました。

（東百舌鳥分館 レファレンス担当）



『知っておきたい日本の年中行事事典』
福田 アジヲ／著
吉川弘文館 2012



万博連動企画巡回ブックフェア 「SAKAI BOOK EXPO」を実施中



「2025年大阪・関西万博」開催にあわせ、市内図書館で巡回ブックフェアを実施しています。児童書を中心に、料理や服装・挨拶といった世界各国のくらしが分かる本や、伝統文化や国際交流を学べる本など、こどもの国際理解に役に立つ資料を集め、展示しています。一部の館では万博関連グッズも展示予定。ぜひご覧ください。

（中央図書館 こども室）

ブックフェアについてはこちら⇒



堺市図書館まつりを開催しました！



令和7年5月6日（火曜）中央図書館で堺市図書館まつりを開催しました。図書館で活動するボランティアグループとともに、絵本の読み聞かせや工作などを行い、こどもたちに本や図書館に親しみをもってもらうイベントです。当日の朝はあいにくの雨…でしたが、玄関前で行われたオープニングセレモニーにはたくさんの人が集まり、恒例のくす玉割りからイベントが開始。集会室では、おはなしや絵本の読み聞かせ、人形劇、堺の伝説についての語りなどを行いました。

また、こどもたちが自由に絵本を手にとって読むことができる「えほんのひろば」をロビーに設け、小さなこどもたちもわらべうたや読み聞かせを楽しみました。

図書館前の「たのしい工作」と「あそびの広場」のコーナーでは、紙コップや牛乳パックを使った工作も人気でしたが、新聞紙を使ったダイナミックな遊びにこどもたちは夢中。また、新しくなった移動図書館「おおぞら号」の見学と、そこでの貸出も実施し、たくさんの方が車の中の様子を見に来られ、本を借りてくれました。

今年、初めての試みとして、各区の図書館で活動しているこども司書30名に参加してもらいました。放送をしたり、工作コーナーで教えたり、人形劇に出演したりと、様々な場面で大活躍。参加者の熱気で午後には雨雲もどこかにいき、活気にあふれた令和7年度の図書館まつりでした。

（中央図書館 こども室）



☆ご協力いただいたボランティアグループ☆（五十音順）

- | | | |
|----------------|-----------------------|-------------------|
| ・絵本の会ふうせん | ・おはなしどんぐり | ・人形劇団 座バリテ |
| ・絵本のひろば よっといで！ | ・キッズパル | ・人形劇団 シャボン玉 |
| ・おはなしウーフの会 | ・くろみひろばの会 | ・人形劇とおはなしのふう〜 |
| ・おはなしかご | ・こども文化ボランティアサークル ア・ラム | ・よみきかせサークル はなしのたね |
| ・おはなしそよかぜ | ・堺市子ども文庫連絡会 | ・わらべうたの会こまめ |



『堺研究』第47号を発行しました

堺市立中央図書館発行の郷土研究誌『堺研究』は、昭和41年発行の第1号から当館所蔵史料の紹介や堺に関する論考を掲載してきましたが、令和7年3月発行で第47号となりました。今号の内容は、斉藤利彦氏（佛教大学教授）の「戎嶋芝居考」、岡本真氏（東京大学史料編纂所准教授）の「中世後期の臨済宗法燈派と堺」、大久保雅央氏（元寝屋川市教委市史編纂課調査員）の史料紹介「堺県布達について（三）」の3本となっています。1冊580円で販売中。購入ご希望の方は中央図書館まで。（中央図書館 地域資料担当）





司書のイチ押し



『日日是好日』

森下 典子／著 飛鳥新社

お茶（茶道）にどのようなイメージがありますか？私は漠然と、厳かで少し堅苦しいのではないかと考えていましたが、学生の頃にお菓子につられて茶道部に入部しました。この本は、作者がお茶を通して体験した二十五年間の軌跡が綴られています。私にとっては茶道部での思い出を彷彿とさせる一冊です。

茶道に触れたことがない人にとって、茶室・茶道具や茶道の所作は全く馴染みのないもので新鮮で謎なことばかりです。茶道のお点前（てまえ）に関しても、お茶を入れる「棗（なつめ）」を拭き清める時は棗の蓋の上をひらがなの『こ』の字に拭く、茶碗を拭く時は茶碗の底にひらがなの『ゆ』の字を書く等、普段意識しない拭くという動作に決まった型があります。動作一つ一つを不思議に思う作者に自分を重ね、普段はしない動作に面白さを感じていたことも鮮明に思い出しました。ダイナミックな動きがあるわけではなく、慣れるまではロボットのようにカクカクとしたぎこちない動きになってしまうのは、茶道初心者のあるあるなのだと微笑ましく思いました。

最初は不自然だった所作が、流れるように身体が勝手にお点前を進められるようになると、点と点が線に繋がる喜びや達成感が生まれます。完成されたお点前はまるで舞のようです。またお点前の所作には、心配事があったり、気分が落ち込んでいたりすると心の機微が表れます。お茶を通して、目の前のことに集中して一つ一つを丁寧に行うことを身につけることで、些細な変化に気づけるようになる

ことは、何気ない日常にも楽しみを見出せる素敵な感受性です。

「お茶」が教えてくれた15のしあわせとタイトルの副題にありますが、読むと15以上のしあわせがあるように思います。人によってしあわせの捉え方は違いますが、この本で書かれているお茶を通しての経験からの気づきや思いは、しあわせに溢れています。作者は自分自身の日々の捉え方に対する変化を実感することで、日日是好日の意味を理解します。お茶のお稽古では、「作法」を教わるのですが、教わった「作法」以外の言葉にできない心の成長を感じることができると思います。豊かな心や広い視野は、知識だけでは得ることのできない貴重なものです。インターネットの普及で様々な情報を手軽に得ることができるようになった一方で、実際に自分で経験する機会が減ってきているのではないのでしょうか。この本からは、お茶を体験することで、小さな発見や変化を察知する五感を養い人間的に成長できることがわかります。学ぶことや教わることは年齢関係なく成長に繋がり、自分にとっての財産になります。

この本を読むと、日常生活の中でも再発見があるかもしれません。しあわせや喜びとは何か、自分自身にとっての日日是好日について改めて考えてみてはいかがでしょうか。心が洗われて晴れ晴れとした気持ちになるオススメの一冊です。

(A・O)



『日日是好日』
森下 典子／著
飛鳥新社 2002

☎ 堺市立図書館電話番号一覧 ☎

中央図書館	244-3811	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター船松人権歴史館	
移動図書館	244-3811	南図書館	294-0123	人権資料・図書室	245-2534
堺市駅前分館	222-0140	梅分館	296-0025	青少年センター図書室	228-6331
中図書館	270-8140	美木多分館	296-2111	図書館カウンター堺東	232-1011
東百舌鳥分館	234-9600	北図書館	258-6850		
東図書館	235-1345	美原図書館	369-1166		
初芝分館	286-0071				



▲図書館 HP

<https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>